

災害時でも組み立て簡単! 座れる簡易トイレ

いざという時に!

約32cm
約31cm
約30cm

目隠しになる便利なポンチョ付き

水分を素早く固める凝固剤付き

“もしも”の時の安心を備える

- 非常用簡易トイレ
組み立て簡単! 目隠しポンチョ付
- 凝固剤+汚物袋のお得なセット
防災用トイレ袋50回分 半永久保存

トイレ診断士 佐藤満春のトイレな話

シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

すごいトイレのはなし2

第26回

佐藤 満春 (さとみつはる)
お笑いコンビどきどきキャンプの片割れ。趣味のトイレ好きが広がりを見せ、2011年11月電子書籍「佐藤満春のトイレ公論」を発表。自らもトイレ掃除に参加するなど自己共に認めるトイレ好きである。名誉トイレ診断士

この本が昨年末の冬休みの感想文の指定図書の1冊に選ばれました。大変光栄なことです、これからも地道に発信していこうと思います。

昨年のお話になりますが学研から「すごいトイレのはなし」という児童書を出版しました。なぜ今、児童書を書いたかといえば「オファーがあったから」という話に尽きるわけですが、かねてから小学生に向けた便育(食育と同じくらい重要な排泄についての教育です)に関わる本を出版したい想いがあり、引き受けることにしました。

内容は「便は流れてどこに行くのか?」「水再生センターではどのような手順が踏まれていくのか?」などなど、当たり前疑問に思うようなことを明確にわかりやすく!まとめてみました。こちらの読者の皆さんは上の質問を小学生にされたらちゃんと答えることが…できますよね? ギクとしたあなた! 安心して下さい。そうなんです、前提として実は「大人も知ってるようで知らないこと」をテーマにしました。われわれの時代、トイレは3K、5Kなんて言われて学校のトイレは臭くて汚い場所でした。今回の出版にあたり、ここ数年、大きく小学校のトイレをとりまく環境が変わっていることにも気が付きました。もちろん、地域差も温度差もあります。公立だったり私立だったり、環境は違いますが、明らかに「トイレ」に関わる行政の意識が変わったように思いました。

出版後、杉並区の小学校にお邪魔して講義をさせていただきました。公立の小学校ででしたがトイレは洋式で、掃除も徹底されておりました。校長先生の意識の高さもあると思います。素直な児童にしっかり伝わっていましたし、僕の授業にあたり、学年全体で予習してくれたことにも感動しました。僕がやりたかったのはまさにこれで「トイレのことを考える原体験」をつんでいただきたい。しかもそれはハッピーで明るく前向きなものであればあるほど、いいなと思っています。そっか、だからトイレは掃除したほうがいいんだ、トイレに行くことは恥ずかしいことじゃないんだ、大人と一緒に児童が学んで考える環境作り。ここを今後も目指していきたい。ちなみにですが鳥取県で

すごいトイレのはなし 佐藤満春著

トイレ歳時記 3月

3月1日は防災用品点検の日
関東大震災が起こった9月1日の他、季節の変わり目となる3月1日、6月1日、12月1日が防災用品点検の日定められています。災害用トイレの備蓄率は約20%に留まっています。もしものときのために自助を充実させていきましょう。

編集後記

BSよしもとで放送中の「トイレの旅」を視聴しました。30分間トイレの話だけで進行して、もちろんエンターテイメントも盛り込んだ楽しい番組に、「よくぞ作っていただきました!」と感動してしまいました。日々トイレの情報に接している私たちでも知らなかったことや、こんな切り口でトイレを紹介しているのか〜と、かわや版の制作にも刺激をいただきました。ぜひご覧になってみてください。(セルバッチオ中嶋)

あなたの町のアメニティネットワーク

コンタクトセンター
0120-57-1110

かわや版

トイレを楽しくする新聞

2025 春号 Vol.113

特集 誰かに話したくなるトイレのうんちくクイズ

トイレにまつわる様々な書籍※の中から、ちょっと人に話したくなる「トイレのうんちく」をクイズ形式でお届けします。トイレについてどのくらいご存じでしょうか? さあ、行ってみましょう!

Q.1 トイレの歴史

現存する日本一古いトイレはどこにあるでしょうか? 場所と時代の正しい組み合わせを選んでください。

- ① 姫路城のトイレ - 戦国時代
- ② 富岡製糸場のトイレ - 明治時代
- ③ 東福寺のトイレ - 室町時代

A.1 ③ 東福寺のトイレ

京都の東福寺にあるトイレは、今から約600年前の室町時代に作られました。100人が一度に用を足せるほど広く、「白雪隠」という名前が付けられています。

Q.2 トイレの進化

もともと和式大便器が主流だった日本のトイレですが、あるきっかけを境に腰掛大便器(洋式大便器)が普及していきます。そのきっかけとは何だったのでしょうか?

- ① 関東大震災後の復興事業
- ② 日本住宅公団(現UR都市機構)の公団住宅
- ③ 第一回東京オリンピックの際のホテル建築

A.2 ② 日本住宅公団(現UR都市機構)の公団住宅

1960年(昭和35年)に当時の日本住宅公団が腰掛大便器を全面的に採用したことで、時代とともに腰掛大便器が増えていきました。ちなみに、関東大震災後には汲み取り式から水洗式へ、東京オリンピックの際にはユニットバスが普及するきっかけになりました。

Q.3 トイレと信仰

トイレの神様が祀られている千葉県の本間神社の「廁の禁忌六箇条(トイレではいけないこと)」の中に実際にあるのはどれでしょう?

- ① 中の人を呼ぶこと
- ② 紙を盗むこと
- ③ 水を2度流すこと

A.3 ① 中の人を呼ぶこと

「廁の禁忌六箇条」では、唾を吐くこと、汚すこと、騒ぐこと、ものを食べる、中の人を呼ぶこと、中の人を覗くことは、廁の神の怒りをかうことになるとされています。タブーを設けることでトイレが特別に清潔な空間になり、基本的な生命行動である排泄を安静に行うことができると考えられています。

Q.4 下水処理

トイレから流された汚水は下水道の中でどのくらいのスピードで流れているのでしょうか?

- ① 時速4km 歩く速度くらい
- ② 時速7km ジョギングする速度くらい
- ③ 時速15km 自転車の速度くらい

A.4 ② 時速7km ジョギングする速度くらい

汚水の流れるスピードが速すぎたり遅すぎたりすると、汚水が下水管からあふれたり詰まったりしてしまうので適度な速度になるように傾きが調節されています。

Q.5 トイレと災害

台風や豪雨の際にトイレが使えなくなってしまう原因で大きなものは次のうちどれでしょう?

- ① 給排水管の破損
- ② 排水管からの汚水の逆流
- ③ 下水処理場やポンプ場の浸水被害

A.5 ③ 水処理場やポンプ場の浸水被害

地震とは異なり水害では給排水管そのものが破損することはないが、下水処理場やポンプ場などの施設が被害を受け水道水の供給や下水処理ができなくなります。水害であってもトイレが使えなくなることがあるということを認識して備えておきたいです。

Q.6 トイレの未来とSDGs

2018年に北京で行われたトイレEXPOで、ビル・ゲイツが語った未来の理想のトイレとは次のうちのどれでしょう?

- ① 水を使わないトイレ
- ② 自家発電するトイレ
- ③ 排泄物を商品価値のあるものに変えるトイレ

A.6 ①②③ すべて正解

ビル・ゲイツは、世界の不衛生な水環境を改善するために、太陽光で電力を賄い、下水道がなくても衛生的に排泄物を処理できる仕組みを企業や研究者と一緒に開発しています。

※今回参考にした書籍は2ページへー

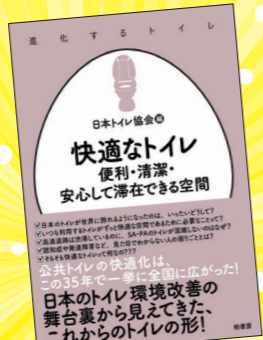
今回参考にした書籍



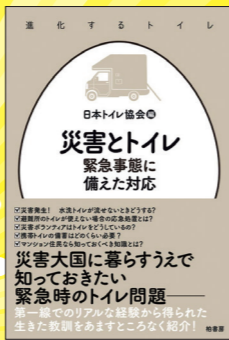
トイレ学大事典
日本トイレ協会／編
柏書房
2015/8/1



すごいトイレの話
佐藤満春著
Gakken
2024/7/25



快適なトイレ
日本トイレ協会／編
柏書房
2022/7/27



災害とトイレ
日本トイレ協会／編
柏書房
2022/6/28



SDGsとトイレ
日本トイレ協会／編
柏書房
2022/6/28

30分間すべてトイレの番組 「トイレの旅」がBSよしもとチャンネルで放送中

Toilet Topics

2025年1月12日から、BSよしもとで全6話にわたって放送されている「トイレの旅」は、「革新」「学校」「災害」「観光」「清掃」「SDGs」のテーマを通じて、日常生活に欠かせないトイレを取り巻く環境から社会を見つめなおす「トイレバラエティー」です。3月9日放送「清掃の旅」では、世界的クリエイターの設計で生まれ変わった渋谷区の「THE TOKYO TOILET」の清掃を担当する企業の「トイレを長寿命化させるテクニック」や、娘に胸を張れるカッコいい清掃員になることを決意し、ピカピカなトイレを維持する清掃エキスパート集団などが紹介されます。3月23日放送の「SDGs」の旅では、日本が世界に誇る世界遺産富士山の環境対応型トイレや、SDGsに貢献するロハス



トイレの旅

のトイレ、誰もが気兼ねなく使用できるよう設計されたオールジェンダートイレなどが取り上げられる予定です。いったいどんなトイレの旅になるのか楽しみです。

番組プロデューサーより

番組にもご出演いただいているトイレ設計の第一人者、小林純子さんと渋谷区の「THE TOKYO TOILET」をめぐる機会があり、その後、公共トイレについての興味深いお話をお伺いしました。誰もが毎日必ず利用するトイレについて、実は深く考えたことがなく、知られていないことがたくさんあることに気づき、日本のトイレのすばらしさ、そして「清潔で安心して使えるトイレを通して、誰もが幸せに過ごせる社会を共に創り上げること」の大切さを伝えるべくこの番組を企画し、企画意図にYKK APさんにご賛同いただいたことで、この番組が生まれました。世界に誇れる日本のトイレではありますが、この番組では、全ての方が気持ちよく使うには、まだまだ課題があるということもきちんと伝えながら、トイレの奥深さを伝えられたらと考えています。

番組概要

- 出演者
トイレの旅人：藤本 淳史(東大卒業生) きりや はるか(ぼる塾)【1回目～3回目】 田辺 智加(ぼる塾)【4回目～6回目】
解説：小林 純子(日本トイレ協会 名誉会長/設計事務所 Gondra 代表) トイレガイド(声の出演)：松浦 志穂(スパイク) ナレーター：浦井 のりひろ(男性プランコ)
- 提供
YKK AP株式会社
- 放送時間
2025年1月12日(日) 13:30～14:00スタート
以降3月30日(日)まで 隔週日曜 放送 ※隔週再放送
- 視聴方法
【T V】BS265ch(無料放送)
【スマホ・PC】<https://video.bsy.co.jp/>(無料配信)
同時配信+放送後2週間はアーカイブ配信
【YouTube】<https://www.youtube.com/@bsyoshimoto>
2025年9月23日(火)まで全6話配信

被災地のトイレの課題と今後の対策

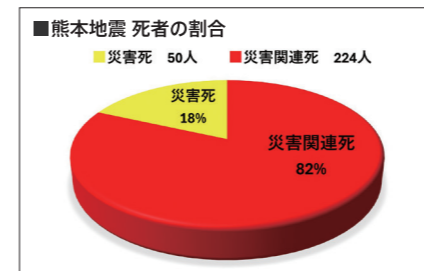
一般社団法人日本トイレ協会の災害・仮設トイレ研究会からの提言

災害時のトイレ問題は、被災者の生活環境に大きな影響を与える重要な課題です。災害時のトイレに関する課題とその対応策を探究している一般社団法人日本トイレ協会の災害・仮設トイレ研究会の外山ゆう子さんにお話を伺いました。

地震や津波などの自然災害時にトイレが使えなくなることにより、健康被害や災害関連死が発生するリスクが高まります。災害用トイレには、携帯トイレ、簡易トイレ、仮設トイレ、トイレトレーラー、マンホールトイレなどがあり、それぞれの特徴を理解し、シーンに応じて使い分けことが求められています。

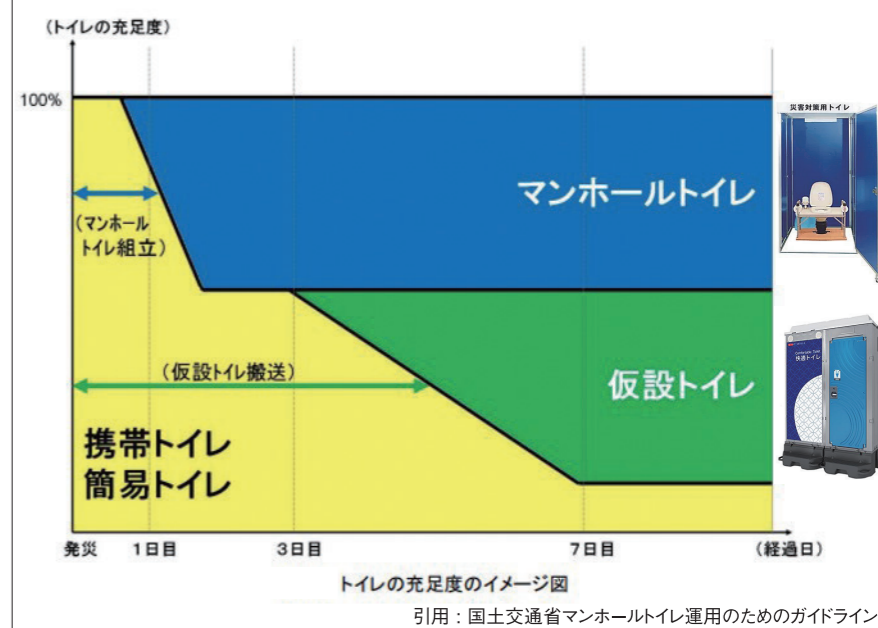
災害発生後、被災者の70%以上が6時間以内にトイレに行きたくなることが分かっています。空腹は多少がまんでも、トイレは待たないです。能登半島地震の際にも、トイレが流せないのに排泄して、汚物が堆積しているという現場がいくつもありました。

トイレの不足や不衛生な状態が続くと、排泄を我慢することが健康に悪影響を及ぼし、最終的に災害関連死を引き起こすことがあります。熊本地震では災害死50人に対し、災害関連死は220人のほりました。



災害時、仮設トイレやマンホールトイレの設置は迅速に行われるべきですが、実際には設置に時間がかかることが多く、支援が遅れるケースもあります。例えば、東日本大震災では避難所への仮設トイレの設置に4日以上かかるところが60%以上ありました。また、道路の寸断や断水などの影響でトイレの設置が難しく、便器の衛生状態が悪化し、避難所の近くにトイレがないことも問題となりました。災害時のトイレ不足を解消するためには、「自助・共助・公助」の視点で備えることが重要です。個人で携帯トイレを備蓄

災害時トイレの負の連鎖



し、地域で協力して避難所のトイレの設置を計画的に行うことが求められます。特に、災害直後は自助と共助が中心となり、支援が届くまでに3日間程度の備蓄が必要です。その後、公助による仮設トイレやマンホールトイレ、トイレトレーラーなどの支援が始まりますが、これらのトイレは屋外に設置されるため、高齢者や障害者に対応するためには屋内用の簡易トイレや携帯トイレの準備も不可欠です。また、感染対策用として完全密封する

トイレを一定数確保することも必要になってきます。災害時のトイレ環境を改善するためには、適切なトイレの種類を選び、災害の発生から復旧までの流れに応じた対応を迅速に行うことが求められます。災害時のトイレ問題は、ただの不便さにとどまらず、命にかかわる問題であることを深く認識し、今後の対策を進化させていく必要があります。